





貴船の家

〈名東区貴船〉

設計：東海・ビルド一級建築士事務所 施工：株式会社 東海・ビルド

計画

デザインの手掛かりを得るには敷地条件が大きな要素となる。

南東に公園を望む高台の敷地。

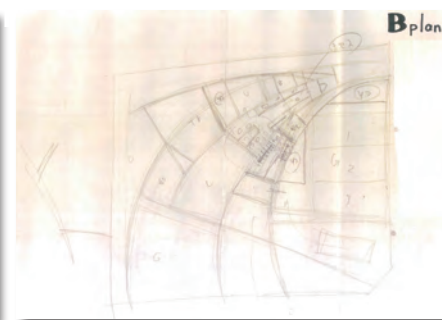
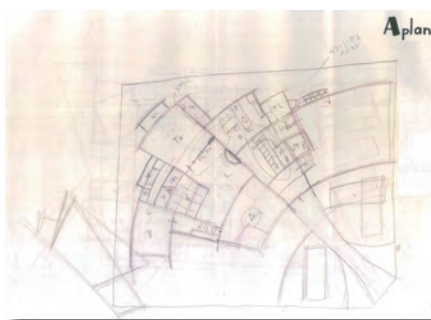
住宅街では隣地方向は当然隣家の壁を見ることになり、同時に見られることになる。

スタディ模型を作りながらこの条件から絞り込んだプランの核は南東の公園に向けてすべての部屋を配置すること。

この条件を探る作業が続いた。

最終型に近い模型が仕上がる。

この形になるまで何度も模型を切り刻みスタディを重ねた。

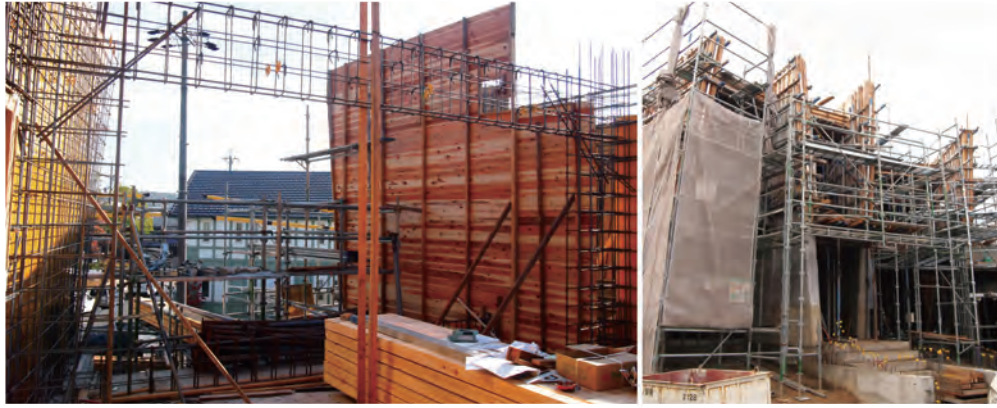


施工

建物は放射状に壁が立ち、交差する壁が同心円に広がっていく。直交する壁が無いことに加え敷地の高低差が墨出しの難易度を上げる。

墨出しは建築工事の基本となる作業。いつにも増して慎重に行われる。

複雑な形状の為、鉄筋工事、型枠工事も墨出し同様難易度が高い。



杉板化粧型枠の打放し壁が屋根を突き抜け立ち上がる。

この突き出た部分のコンクリートを打設するのは難しい。

屋根の上に生コンが流れ出るからだ。一般的には屋根の上で打継ぎ、目地を入れる。

この建物には絶対に継ぎ目を入れたくなかった。

継ぎ目を作らない様に、またコールドジョイントを出さない様に入念に打設計画を練る。

考え抜いて出した答えは、2Fからつぺんまで一気に打つ。

打設当日、まるで戦場の様に慌ただしい。あちらこちらで指示の声が飛び交う。



足場が取れ、全貌が露わになる。

計画通りに形が出来上がった事の安堵もあるが、それ以上に言葉に出来ない感動があった。



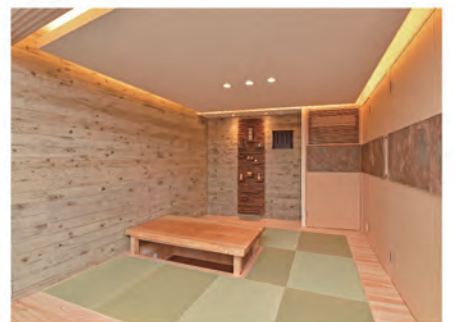
何の仕上げも無いコンクリート素地の内部。武骨な美しさがある。



公園を向くコンクリート打放しの壁に挟まれた空間が、放射状に段違いに配置されて各部屋の明かりはコンクリート壁を浮かび上がらせる。



その壁の一部は庭に伸びて室内外ともに琉球石灰岩が積まれた。
テレビ台はコンクリートの打放しのカウンター。



和室。杉板型枠のコンクリート打放しと檜、
和紙の組み合わせ。



玄関。靴箱は壁に埋め込む。



ゴルフ練習スペース。
このスクリーンに映画も映す。



屋上もパット練習場に使われた。



広々としたキッチン。
カウンターで食事も取れる。



年月を経てグレーに変わる溶融亜鉛メッキを施されたスチームフェンスとコンクリート打放し。構成要素はこの2つ。

- 建物名 — 貴船の家
- 所在地 — 名東区貴船
- 構造 — RC造2階建
- 面積 — 敷地面積/519.64㎡(157.19坪) 建築面積/236.43㎡(71.52坪) 延床面積/345.25㎡(104.43坪)



解体前



解体



解体完了



新築工事施工



足場解体



築41年の賃貸マンション建て替え物語

名東区藤ヶ丘駅から徒歩5分。昭和49年に建ったこのアパートは、藤ヶ丘界隈では一番最初に建った賃貸マンションだったそうです。しかし40年近く経った時、年月とともに建物は老朽し、特に設備面は限界が近づいていました。

オーナー様もそろそろと考え始めた時、縁あって当社の提案を見て頂く事が出来、数社競合の末、今回の建て替えをさせて頂きました。

まずは当時お住まいだった入居者様に退去していただくことからスタート。

中には新築当初から41年間住んでおられる方もおみえでしたが、老朽化と現在の耐震基準を満たしていない事をご説明し、皆様にご退去頂きました。

入居者様に無理の無いよう退去頂くのに6か月経過しました。

次に解体工事が始まります。住宅地の中での解体は近所の皆様にどうしてもストレスをかけてしまいます。Stop and Goを繰り返し、更地になるまで2か月が過ぎました。



今回のプロジェクトチーム。皆の総力で建て替えが無事成功しました。



Grantage 藤ヶ丘 <名東区朝日ヶ丘>

設計：東海・ビルド一級建築士事務所 施工：株式会社東海・ビルド

計画当初は3階建てから6階建てまでの検討を行いました。賃貸事業ですので最終的にはやはり採算面と折り合いをつけなければいけません。コストバランスを比較しながら基本設計は鉄筋コンクリート構造、4階建てと決定しました。

また打合せが続く中で奥様から、「色調も統一感があつたほうが良い」というご意見からテーマカラーをブルーで統一。品が有り落ち着いた雰囲気となりました。

重厚感のあるコンクリート杉板打放しのエントランスを入ると、屋根付き駐輪場と中庭に繋がります。住む家族の皆さんに優しいファミリータイプマンションが完成しました。

ちなみにエントランスに貼った琉球石灰岩は、当社展示場をご覧になったオーナー様が決定した一品です。

計画から完成、ご入居まで約2年のプロジェクトでした。



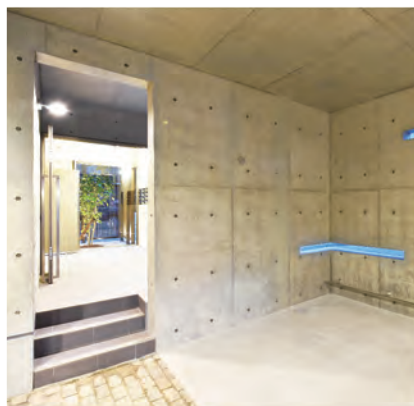
ブルーでまとめた共用廊下



エントランスのアクセントにシンボルツリーを配置



エントランスアプローチ



駐輪場よりエントランスを望む

- 建物名 — Grantage藤ヶ丘 (グランテージ藤ヶ丘)
- 所在地 — 名東区朝日ヶ丘
- 構造 — 鉄筋コンクリート構造(壁式)4階建
- 面積 — 敷地面積/599.57㎡(181.37坪)
施工面積/1069.76㎡(323.60坪)



梁を表しにした落ち着いた雰囲気の内室。



ウォルナットとホワイトでまとめ、アンティーク家具を引き立たせた。



中平の家 〈天白区中平〉

設計：アーキビルド設計工房 施工：株式会社 東海・ビルド

アンティーク家具が調和する家造り

今回の計画は施主様の奥様の弟様の敷地内に新たに家を新築。元々住まれていた家を息子様ご夫婦にお渡しするといったものでした。初めての打合せの為、お宅にお伺いすると・・・びっくりするくらいオシャレなお家。モダンな間取りとデザインの中に見事に調和しているアンティーク調の家具。心地よいBGMをバックに、まるでカフェの中での打合せのように始まりました。

コンセプトはアンティーク家具を主体にいかにコンパクトにまとめるか。

ご夫婦お二人の終の棲家になることを考え、なるべく段差を無くし、且つ無駄のない動線を意識してプランニング。

アンティーク家具の大きさを図面に落とし込み、実際に生活を始めた時をイメージして打合せ。

途中、設計・橋本と奥様でアンティークショップに買出しに行ったりと和気あいあいな雰囲気が進みました。

外構の植栽も建物とのマッチングを考え、いつもお世話になっている日進市のT-GARDENさんに出向き、美味しいランチと共にディスカッション。





洗面はコントラストを効かせたブルー。ミラーとのマッチングも◎。



ご主人お気に入りの襖紙。シックで格好良い和室に。



キッチンがノビア。アンティーク家具とのバランスを考え、可愛過ぎない物を選びました。あえて食洗機は入れずに風合いを大切にしたいとの奥様の要望を取り入れました。

和室の雰囲気もモダンな襖紙をチョイスして落ち着いた感じにまとめ、ご主人にも大変好評でした。

ご主人からの要望で家がコンパクトになった分、少しでも収納を取ってほしいとの事でしたので、工事・澤田と検討して、階段下にスペースを設けました。収まりを考え、床暖房のリモコンは壁を凹ませて収め、玄関を入って一番に目に留まる壁面にはショーケースを設置。奥様コレクションを飾り、お客様を迎えます。

施主様の好みによって様々なテイストの住宅を造らせて頂くことが出来、勉強になるのと共に、感謝の気持ちで一杯です。

押沢台の家

〈春日井市押沢台〉

設計：アーキビルド設計工房 施工：株式会社 東海・ビルド



プランニング

社員の自宅であっても進め方は変わらない。まずは施主様(奥様)に当社を知って頂くことからスタート。当時建設していた、当社の分譲住宅をご案内しながらヒアリングをさせて頂きました。ヒアリングと奥様から頂いた雑誌の切り抜きやメモを基にラフプランをご提案。東西に長い敷地形状を生かし、南に向けて間口を広くとり、各居室に十分な光が入るように計画。また、勾配天井を採用し、高さ制限ぎりぎりまで北側に建物を寄せることで南道路からの視線に配慮しました。

内部空間



リビングにはくつろぎの場となる畳コーナーを計画。畳の色にもこだわりが。目立ちすぎず落ち着きすぎず・・・絶妙な色を採用。

余談 ～マイホーム建築を振り返って～

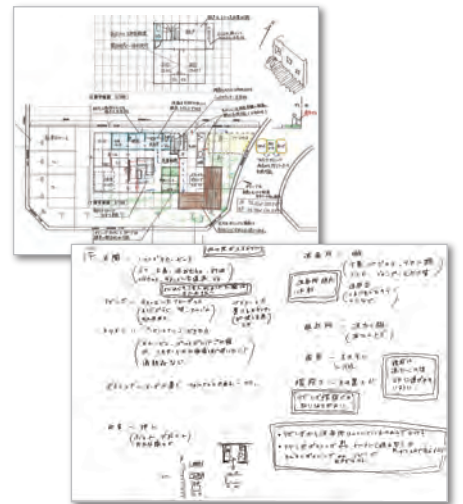
自分の家を自らが現場管理をして建てる。そんなことは全く想像していなかった。普段の施工とは違う感覚で計画を進めていったのが正直な感想です。「出来る限り妻の思いを形にしたい。」という思いから、妻を施主というスタンスで(当然施主ですが・・・)自分は現場監督に徹し、部屋のテイストや間取り等は妻が決定権を持てるようにして計画を進めていきました。妻からの要望はたくさんありましたが、設計部の協力のもと、打合せを積み重ねていき納得のいくプランが完成しました。

建設中には協力業者の皆様にも細部にまでこだわって頂き、満足のいく家を建てることができました。

そのため完成した家は、妻も子供たちも非常に喜んでくれています。(工事部・M)

プロジェクト開始

実はこの家・・・当社社員の住宅なのです。施主様(社員)自らが現場監督をしてマイホームを創り上げる。建築会社に勤めているからこそできる、夢のような建設プロジェクト。計画地は高台にあり、見晴らしがよく景色が素晴らしい。3面が道路に面しているのも特徴的。この立地をどのように生かすか・・・



2階にはお子様2人の専用の個室を計画。2室は建具で仕切ることができ、一室として利用することも個室として利用することも可能。また、奥様のご提案でお子さんの好みの色をアクセントクロスとして取り入れました。

- 建物名 — 押沢台の家
- 所在地 — 春日井市押沢台
- 構造 — 木造(在来工法)2階建
- 面積 — 敷地面積/232.36㎡(70.28坪)
建築面積/ 81.00㎡(24.50坪)
延床面積/108.29㎡(32.76坪)

Renata hair <緑区鳴海町>

設計: 東海・ビルド一級建築士事務所 施工: 株式会社 東海・ビルド



MENU & PRICE	
カット	¥ 5,000
カラー全体	¥ 6,000~
パーマ全体	¥ 6,000~
トリートメント	¥ 2,000~

※すべて税抜価格

Renata hair様との出会いはちょうど1年前になります。

当時緑区徳重に計画中であったオーヴァルテラス現場の完成予想図をご覧になり、そのデザインを気に入って頂き、「是非この建物に美容室を出店したい」との熱い想いをお聞きました。

1年をかけてオーヴァルテラスと同時に竣工したRenata hair。

コストを最小限に抑えるために

- ①. 汎用材料の組み合わせによって雰囲気を作る。
- ②. 素材の質感で勝負をすることで仕上げ費用を抑える。
- ③. エリア分けを内装で行い、一体空間に機能を配置することで空調費用を抑える。

といったバリューエンジニアリング (VE) 目標を設定して設計を始めました。

オーナーのMさんの美容師としてのセンスと設計・森の建築センスがいい具合にミックスされた空間が出来上がり、両者ともその相乗効果を楽しむことができました。

家具、小物などMさんが用意されるものも逐一相談して頂き、M&M (Mさんと森) 設計、東海・ビルド施工の美容室が完成しました。



INFORMATION

Renata hair

名古屋市緑区鳴海町熊ノ前12-40
オーヴァルテラス2F

TEL.052-875-3081

- ◆ AM9:30より営業 ◆ 月曜定休
- ◆ 駐車場5台有り

2016年 社員研修旅行のご報告

以前より社員が熱望していたシドニーオペラハウス視察。
会社創立20周年を機に今後の東海・ビルドのために、長年の夢を叶えてもらえました。

■オペラハウス

世界遺産の中で最も築造年代の新しいオーストラリアのシンボル、オペラハウス。設計はデンマークの建築家ヨーン・ウッツォン。1950年代の構想から完成まで14年もの歳月がかかったそうです。
現地ガイドさんの案内のもと、内部まで見学させて頂きました。建物は独特の構造をしており、支えとなる柱が一切ないそうです。印象的な外観だけでなくホールの中は豪華絢爛、こだわりが詰まっています。屋根は小さなタイルの組み合わせになっており、よく見ると白色にクリーム色が混じっていて光の反射が抑えられています。周辺を散策しましたが、どの角度から見ても美しい。本当に素敵な場所でした。



オペラハウス



スザンナ・プレイス博物館

■スザンナ・プレイス博物館

シドニーの初期の建築スタイル(1844年)。当時の雰囲気を残した歴史的な建物。ロックス地区は歴史と現代が融合したシドニー発祥の地。オーストラリア最初の入植地で囚人たちが開拓に励んだ跡が街のあちこちに残っています。石畳の小道をぶらぶらと散策すると色々な素敵な建物に出会えました。

■シドニー工科大学ビジネススクール

不思議な建物があるものです。写真はフランク・ゲーリーという建築家の設計に依る建物。オープニング式典でオーストラリア総督が「こんなに美しいくしゃくしゃの紙袋”は見たことがない」と挨拶して話題になったシドニー工科大学(UTS)ビジネススクールです。中学の時、ジュースの缶(当時は250ml缶)をくしゃくしゃにして彫刻したことを思い出しました。そんな建物にみんな興味津々です。設計部長の森は、フランスでこのゲーリー建築に触れてきています。フォンダシオン・レイ・ヴァイトン。これもまた凄いです。



シドニー工科大学ビジネススクール

技術の進歩によって、“不可能”の建物がどんどん可能になっていく。とても刺激的な建築研修でした。出発前に世界街歩きDVDを見せてもらって行ったので、ずっとテーマ曲が頭の中で流れていたのは私だけではないはず…。

日増しに秋の深まりを感じる季節となりましたが、いかがお過ごしでしょうか。毎年の会話ですが、『今年の夏は去年よりも暑いですね』が、口癖になっている今日この頃。台風も例年以上のペースで発生し、上陸しては甚大な被害をもたらしました。被災された方には、一日も早い復興を願っております。この夏、日本の裏側ではリオオリンピック・パラリンピックが開催され、全ての競技者の4年に一度に懸ける思いが伝わり、興奮させてくれました。4年後の東京での開催が今から待ち遠しく思っております。夏のオリンピック・パラリンピックが生で観戦出来ることはなかなか無く、生涯の中でもそうそうあることではないので、是非足を運びアスリートの皆様に声援を送りたいと思っております。また弊社においては創業20周年の区切りの年を迎え、社員一同、アスリートのように熱い気持ちで皆様と接していきたいと思っております。今後とも、東海・ビルドを宜しくお願い致します。

TOKAI-BUILD NEWS 「B!-co」編集部

株式会社 東海・ビルド

特定建設業 知事(特-27)第49209号 宅地建物取引業 知事(4)第18792号
東海・ビルド一級建築士事務所 住宅性能保証制度登録店
〒465-0008 名古屋市名東区猪子石原一丁目1307番地

☎052-772-9100 (代)



<http://www.tokai-build.com>
E-mail eigyo@tokai-build.com
blog tokai-build.blog.ocn.ne.jp

東海・ビルド | 検索